

団体名	西川町地域資源活用イノベーション推進協議会
所在地	山形県西村山郡西川町大字海味510番地
団体の目的	厳しい自然環境や、大自然の恵み、豊富な森林資源・観光資源を活かすとともに、時には大自然に立ち向かいながら、人やその人の想いをつなぎ、地域課題の解決に資するかつ、継続的に地域資源を活用したイノベーションを創出し、持続可能な地域をつくる。
活動地域	山形県西川町
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	「雪とみどりと太陽の町！自然とめぐみと人をつなぐ地域資源活用イノベーション事業」を通じて、地域資源を活かして、地域課題解決につながるイノベーションを起こしたい人と人、人の想いをつなぎ、町民が主体性を持って、関係者と信頼関係を構築する。町民がやりがいをもって地域づくりに取り組み、行政や地域商社が伴走し、人と人をつなぎ、地域課題の解決を図り持続可能な地域を創る。また、これを契機に、共助のコミュニティが生まれ、地域課題解決型や地域資源活用の事業が次々と生まれる町となりたい。
地域の現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と高齢化(県内で最も高い)により、加速度的で地域の活力が失われている。 ・これまでの事業は、付加価値に占める公共事業の割合が高く、役場主導で行われてきた。このため、地域資源を活用した、或いは地域課題解決型イノベーションを起こしたい町民の可視化とそのつながりを構築できていない。 ・「日本一の隠れ豪雪の町」で知られるわが町においては、通年型農業の実現が課題。 ・町内総生産の公的セクターの割合が高い(近隣自治体の3割)地域内での労働生産性が全国平均より低いほか、地域外サービスの購入により100億円が町外に流出。
地域が持つ資源	<ul style="list-style-type: none"> ・森林:町の面積の90%を占めており、特に人工林の6割が主伐期を迎え利用段階にある。 ・雪:月山の夏スキーや豪雪地域ならではのサウナ体験、苔の道など観光資源として活用している。 ・人(有志):町づくりに関わりたいワークショップ参加者80名のほか、LINEチャットへの登録者1,100名の有志。 ・企業:令和4年度より、積極的に、町外の民間企業11社と包括連携協定を締結。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ①区有林をもつ入間区の課題と町の課題を解決を図る木質バイオマス発電ハウス園芸による通年農業 ②地域資源や再生エネルギーを活用した交流人口の拡大 ③豪雪(雪室)を活かした特産物の付加価値向上
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果(変化)	<p>(環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー活用により、CO2削減を図り、社会全体のカーボンニュートラルを達成し、それを宣言する <p>(経済)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの地産地消により、民間の技術力を活用した通年型農業の実現 ・農林業や自然を活かした観光業での地域雇用や再生エネルギー事業での福祉施設活用による雇用の創出 ・関係人口の拡大・活用とによる町内外と官民の組織・有志との協働による地域経済の活性化 ・特産物の付加価値向上による稼ぐ町への変革 <p>(社会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民を巻き込んだ対話とネットワークの構築により地域課題や環境配慮の意識醸成



月山夏スキー



大自然の中でのキャンプ_月山・弓針平オートキャンプ場



月山志津温泉雪旅籠の灯り



自然を満喫するカヌー体験_寒河江ダム